

## 研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

### <研究課題名>

急性期脳卒中患者における栄養指標と転帰との関連 後方視的観察研究

### <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院神経内科・部長 中嶋秀人

### <研究期間>

承認日 ～ 令和7年（西暦2025年）3月31日

### <研究の目的と意義>

脳卒中は脳の血管がつまる、流れが悪くなる（脳梗塞、一過性脳虚血発作）ことや脳の血管が破れる（脳内出血、くも膜下出血）ことで脳に栄養と酸素が十分にいかなくなり、急に運動や感覚に障害が出る病気です。脳の神経細胞は栄養や酸素がなくなって損傷してしまうとほとんど再生しないため、脳卒中後に運動や感覚の障害が回復せずに残ってしまう（後遺症）ことが多くあります。脳卒中を発症してしまった場合に栄養失調があつて筋肉がつかなくなったり、のどの麻痺のため食事がとれなかったりすることが、後遺症が多く残ってしまう原因の一つであると考えられています。

この研究は脳卒中を生じて入院した患者さんたちの脳卒中の具合や全身の栄養状態について調べることを目的としています。これによって、あなたと同じ病気にかかる多数の患者さんが後遺症を減らせるようになる可能性があると考えられます。

### <利用する試料・情報の項目>

診療記録より、年齢、性別、体重や身長などの身体計測情報、MRI や超音波検査などの画像データ、血液検査データ、治療方法、転帰の情報を使用いたします。

### <対象となる方>

2015年7月～2023年2月28日までの期間に日本大学医学部附属板橋病院脳神経内科に急性期脳卒中（脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血）で入院された方。

### <研究の方法>

対象となる患者さんの情報（上記、利用する試料・情報の項目にある内容）を集めて、統計ソフトを用いて解析を行います。これによって、脳卒中の具合が悪かった原因と栄養状態に関係があつたかを明らかにしていきます。

### <お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

脳神経内科 氏名：秋本 高義

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2602